



2017年

6月

176号

# 連合鶴岡田川情報復刻版

## 学習の旅

連合鶴岡田川地協は6月16日(金)～17日(日)の2日間、平和問題と政治課題を考える学習の旅～舟山やすえ国会情勢報告会を開催、14名が学習と交流を深めました。

**【横須賀軍港】**1853年、米国ペリー艦隊が横須賀港に上陸した場所で、幕府が世界と渡り合うため「製鉄所」を建造したことから海軍港として位置づけられました。

第二次世界大戦の敗戦以降、アメリカ海軍に接収され、安全保障条約(旧安保条約)の批准によりアメリカ海軍に利用され、現在、アメリカ海軍施設(横須賀本港)と海上自衛隊の司令部(長浦港)が置かれた軍港となっている。

横須賀は沖縄県と同じ基地問題の他に原子力空母などの核問題も大きな問題となっている。

**【舟山やすえ議員】**議員会館で国会情勢報告会を開催する予定でしたが、混迷する第193回国会により時間調整が出来なかつたため国会前での報告会となりました。

文科省の天下り問題、南スーダンの日報廃棄問題、森友学園に対する国有地売却問題、加計学園の獣医学部新設問題、共謀罪法の強行採決など疑問の残る国会でした。

常に国民目線で取り組んでいる舟山やすえ議員の活躍に引き続き応援していくことを確認し合いました。

**【第五福竜丸】**1954年、アメリカがマーシャル諸島ビキニ環礁で行った水爆実験により、被ばくした遠洋マグロ延縄漁船は爆心地から160キロ離れた海上で「死の灰」(放射性降下物)を浴び、船員全員が被ばくしました。

1967年、廃船となった船体を保存するため、原水爆禁止運動による全国の取り組みにより、1976年、東京都立第五福竜丸展示館が開設されました。

**【豊洲市場】**江東区豊洲駅からタクシーを利用して、市場の移転が問題となっている豊洲エリアを見学。広大な敷地に最新の設備が立ち並ぶ、土壌汚染の他にも巨額の資金が使われていることが分かりました。

また、現在の築地市場の地下には第五福竜丸によって、水揚げされた、水爆で被ばくしたマグロが埋められているという問題も存在している。



【横須賀軍港めぐり】



【舟山やすえ議員と国会前で】



【連合鶴岡田川地協一行様】



【東京都立第五福竜丸展示館】